

第3章 計画の目標と施策の方向

1. 望ましい環境像

第2次環境基本計画での取組や理念を継承し、アンケート等で寄せられた市民意見や本市の最上位計画である「第5次朝霞市総合計画」を踏まえ、朝霞市が将来このようなまちになってほしいという姿を「望ましい環境像」として設定しました。



本市の環境を特徴づける豊かな「水とみどり」を守り、将来にわたって持続可能な「環境にやさしい」まちが保たれるように、市と市民・市民団体、事業者の協働による取組を進めて、「みんなで作る」ことを目指します。

望ましい環境像

みんなで作る 水とみどりが豊かな
環境にやさしいまち 朝霞


望ましい環境像の実現に向けて、4つの分野ごとに環境目標を設定し、各施策を推進していきます。

環境目標

 自然環境	自然と人との共生 生き物がすみやすく、豊かな自然が身近に感じられるまち
 生活環境	快適な生活環境の確保 安心して快適に、ずっと住み続けられるまち
 地球環境	脱炭素・循環型社会の推進 限りある資源を大切に、環境に負担をかけないまち
 環境パートナーシップ	パートナーシップによる環境活動の推進 みんなで環境を学び、考え、取り組むまち

2. 環境目標

「望ましい環境像」の実現を目指し、環境課題を解決していくため、市の環境を構成する4つの環境分野ごとに、環境目標を定めました。



環境目標1 自然と人との共生


生き物がすみやすく、豊かな自然が身近に感じられるまち

豊かな河川や湧水、周辺に広がる斜面林などで形成される自然環境と、そこに生息・生育する生物を中心とした生態系ネットワークの保全に努めます。また、市内に残る樹林や緑地、農地を保全するとともに、公園や緑道など都市の緑を確保し、人と自然がふれあえる環境を形成します。


10年後の目指す姿

生き物がすみやすく、豊かな自然が身近に感じられるまち


11 住み続けられるまちづくりを



15 陸の豊かさも守ろう






17 パートナーシップで目標を達成しよう



市内に残された自然環境は健全に維持され、河川沿いに緑地や斜面林、農地などが点在し緑の回廊が広がっており、多様な生物の生息・生育場所となっています。さらに歴史文化を活用した景観の形成や市街地の緑化も進むなど生活環境の質が向上し、市民にうるおいを与えています。これらの緑は、地域ぐるみの活動により世代間交流の場となっています。

■環境目標に特に関連するSDGs

特に関連するSDGs	重視すべき視点
 <p>住み続けられるまちづくりを</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境の保護・保全を推進すること
 <p>陸の豊かさも守ろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系の保護・回復や持続可能な利用を推進すること ・生物多様性の損失を阻止すること
 <p>パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性に関する情報や意識をもつこと ・多様な関係者と協力して自然環境・生物多様性保全を推進すること



生活環境

環境目標 2 快適な生活環境の確保

安心で快適に、ずっと住み続けられるまち

空気や水がきれいできれいなまちを維持するために、継続的な監視や対策を実施することにより安心できる生活環境の保全に努めます。快適で住み良いまちの実現に向けて、ごみのポイ捨てや不法投棄の防止など、環境美化に関する取組を推進します。






10年後の目指す姿

安心で快適に、ずっと住み続けられるまち

市、市民・市民団体、事業者の連携により大気汚染、水質汚濁、騒音などの公害も未然に防止され、きれいな大気、安全な水などの恩恵を受け、健康で快適な環境が保たれています。また、美化活動や生活マナーの向上が推進され、ごみのポイ捨てが減少し、まちの美観が保全されています。



■環境目標に特に関連する SDGs

特に関連する SDGs		重視すべき視点
	すべての人に健康と福祉を	・大気、水質及び土壌の汚染による影響を防止すること
	安全な水とトイレを世界中に	・適切に下水を処理し、水質汚染を改善すること ・有害化学物質による汚染を最小化すること
	住み続けられるまちづくりを	・環境上の悪影響を軽減すること ・持続可能な都市化を促進すること
	海の豊かさを守ろう	・海洋ごみや化学物質などによる汚染を防止すること
	パートナーシップで目標を達成しよう	・持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報や意識をもつこと ・多様な関係者と協力して持続可能な開発に向けたパートナーシップを強化すること



環境目標3 脱炭素・循環型社会の推進

限りある資源を大切にし、環境に負担をかけないまち

脱炭素・循環型社会の構築に向けて、再生可能エネルギーの普及や温室効果ガスの排出抑制、気候変動の影響を低減するための適応策に取り組みます。また、ごみの減量や再資源化など3Rに対する意識啓発や環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を促進し、環境に配慮したまちづくりを進めます。

10年後の目指す姿

限りある資源を大切にし、環境に負担をかけないまち

市、市民・市民団体、事業者が協力し合い、それぞれが率先して省エネルギー活動に取り組んでいるほか、公共交通の利便性の向上が図られ、環境負荷の少ないライフスタイルへの転換が進んでいます。再生可能エネルギーや次世代自動車の普及が拡大し、脱炭素社会に向かって動きだしています。一人ひとりに省資源の認識が広がり、3R活動が浸透し、発生するごみが減少しています。



■環境目標に特に関連するSDGs

特に関連するSDGs		重視すべき視点
	飢餓をゼロに	・持続可能な食料生産システムを確保すること
	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	・再生可能エネルギーの割合を拡大すること ・建物やまちのエネルギー効率を改善すること
	産業と技術革新の基盤をつくろう	・持続可能な社会につながる技術の導入を進めること ・資源の利用効率を向上すること
	住み続けられるまちづくりを	・持続可能な交通システムを発達させること ・災害による影響の軽減、災害リスクを管理すること
	つくる責任 つかう責任	・資源の効率的な利用・資源循環を進めること ・食品ロスを減少させること ・廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用を推進し、廃棄物発生量を削減すること
	気候変動に具体的な対策を	・気候変動及びその影響を軽減するための取組を推進すること
	パートナーシップで目標を達成しよう	・多様な関係者と協力して気候変動への対処を推進すること ・環境に関する情報や専門的知見などを共有すること



環境目標4 パートナーシップによる環境活動の推進

みんなで環境を学び、考え、取り組むまち

環境を学ぶ機会を増やすとともに、環境情報の発信を通して、市民の環境意識の向上を図ります。

市、市民・市民団体、事業者と協働した環境パートナーシップによる環境保全活動や活動団体の育成を行い、環境教育・環境学習の普及啓発を推進していきます。






10年後の目指す姿

みんなで環境を学び、考え、取り組むまち

子どもから高齢者まで各年代に応じた環境情報が発信・共有され、市民が環境問題を自分事として捉え、持続可能な社会について考えるようになり、環境にやさしいライフスタイルを実践する人が増えています。また、様々な環境保全活動に参加する人やその活動の中核となる人材も増え、みんなで環境の保全・創出に取り組む姿が広がっています。

■環境目標に特に関連する SDGs

特に関連する SDGs	重視すべき視点
 質の高い教育をみんなに	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能なライフスタイルに必要な知識と技能を習得すること
 陸の豊かさも守ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な関係者と協力して自然環境・生物多様性保全を推進すること
 パートナーシップで目標を達成しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な開発に向けたパートナーシップの強化を推進すること

3. 施策体系

望ましい環境像

みんなのでつくる

水とみどりが豊かな

環境にやさしいまち

朝霞

【環境目標】

【個別目標】



自然と人との共生

生き物がすみやすく、豊かな自然が身近に感じられるまち

1-1
生き物がすめる環境を大切にする

1-2
みどり豊かなまちをまもり育てる



快適な生活環境の確保

安心して快適に、ずっと住み続けられるまち

2-1
きれいな空気をまもる

2-2
きれいな水と土をまもる

2-3
快適で住み良いまちをつくる



脱炭素・循環型社会の推進

限りある資源を大切に、環境に負担をかけないまち

3-1
クリーンなエネルギーをつくる

3-2
省エネルギー・省資源をすすめる

3-3
地球に負荷の少ないまちをつくる

3-4
資源を大切に、繰り返し使う

3-5
気候の変化に備える



パートナーシップによる環境活動の推進

みんなで環境を学び、考え、取り組むまち

4-1
環境についてみんなで学ぶ

4-2
環境活動にみんなで参加し行動する

【実施施策】

【ページ】

【関連する SDGs 目標】

1-1-1	健全な水循環の形成	42
1-1-2	生物の生息・生育環境の保全	42
1-1-3	生物多様性の確保	43
1-2-1	緑地・樹林・樹木の保全	46
1-2-2	農地の保全と活用	48
1-2-3	都市の緑化	48
1-2-4	緑豊かな景観の形成	49



2-1-1	大気環境の保全	54
2-1-2	悪臭の防止	54
2-2-1	河川の水質保全	57
2-2-2	地下水汚染・土壌汚染の防止	58
2-3-1	騒音・振動の防止	61
2-3-2	日照阻害、電波障害の防止	62
2-3-3	環境美化の推進	62



3-1-1	再生可能エネルギーの普及促進	65
3-1-2	公共施設への再生可能エネルギーの導入促進	65
3-2-1	環境に配慮した行動の推進	69
3-2-2	水の有効利用	70
3-3-1	環境に配慮した移動手段の推進	73
3-3-2	コンパクトで利便性の高い生活環境整備	74
3-4-1	廃棄物の排出抑制の推進	78
3-4-2	資源化の推進	79
3-4-3	廃棄物の適正処理の推進	79
3-5-1	気候変動に関する影響の把握と普及啓発	83
3-5-2	気候変動への適応策の推進	83



4-1-1	環境教育や環境学習の機会の提供	88
4-1-2	環境情報の発信と普及啓発	88
4-2-1	市民団体の環境保全活動支援	91
4-2-2	環境保全活動団体の育成、ネットワークの形成等	91



■第3次朝霞市環境基本計画における環境施策とSDGsとの関係

第3次環境基本計画 分野別目標	1 自然と人との共生 生き物がすみやすく、 安心して快適に、ずっと住み続けら れるまち		2 快適な生活環境の確保 安心して快適に、ずっと住み続けら れるまち			3 脱炭素・循環型社会の推進 限りある資源を大切に、環境に負担をかけないまち					4 パートナーシップ による環境活動の 推進 みんなで環境を学び、 考え、取り組むまち						
	1-1	1-2	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	4-1	4-2					
	生き物がすみやすい環境を大切にする	みどり豊かなまちを育てる	きれいな空気をまもる	きれいな水と土をまもる	快適で住み良いまちをつくる	クリーンなエネルギーをつくる	省エネルギー・省資源をすすめる	地球に負荷の少ないまちをつくる	資源を大切に、繰り返し使う	気候の変化に備える	環境についてみんなで考える	参加し行動する					
SDGs 17の目標	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
① 貧困をなくそう																	
② 飢餓をゼロに													●	●			
③ すべての人に健康と福祉を			●	●	●												
④ 質の高い教育をみんなに																●	●
⑤ ジェンダー平等を実現しよう																	
⑥ 安全な水とトイレを世界中に				●	●												
⑦ エネルギーをみんなにそしてクリーンに							●	●	●	●	●						
⑧ 働きがいも経済成長も																	
⑨ 産業と技術革新の基礎をつくらう							●	●	●	●	●						
⑩ 人や国の不平等をなくそう																	
⑪ 住み続けられるまちづくりを	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
⑫ つくる責任つかう責任							●	●	●	●	●						
⑬ 気候変動に具体的な対策を							●	●	●	●	●						
⑭ 海の豊かさを守ろう				●	●												
⑮ 陸の豊かさを守ろう	●	●														●	●
⑯ 平和と公正をすべての人に																	
⑰ パートナーシップで目標を達成しよう	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●